

同盟会かわら版



「同盟会かわら版」第4号

「塩谷町民指定廃棄物最終処分場反対同盟会」（通称：同盟会）発行

環境省に「意志表明書」を送付しました！

1月22日（木）、「同盟会」は緊急記者会見を開き、環境省宛に「意志表明書」を送付することを発表しました。以下に全文をご紹介します。

意 志 表 明 書

去る1月16日（金）の小里環境副大臣の来町の際のご提案に対する見形町長の面積確認への同意発言に関して、1月19日（月）に町長が環境省へ出向き、町民の強い意見を受けての発言撤回を申し出ましたが、塩谷町民指定廃棄物最終処分場反対同盟会としても、環境省の現地立ち入りそのものを認めないという町民の意思をお伝えします。

そもそも、今回の町長の発言は、面積が選定の必要条件である2.8ヘクタールを満たしていないので、環境省にこの事実を認めてもらえれば選定自体が無効になると考えて同意した訳ではありますが、残念ながら我々同盟会は町長ほど環境省を信頼しておりません。これは環境省が過去に行ってきた常識を持つ一般人では考えられない数々の都合の良い解釈の例を見れば当然の判断であり、環境省は必要面積の条件を満たさないと分かっても候補地選定を撤回することはないと考えており、我々は、環境省の面積確認を到底受け入れることはできません。

今回の質問書の町への回答を見ると、詳細調査を実施さえすれば、どんなに不適な条件があっても建設可能にしてしまうという驚きの内容が記され、我々町民は不安を感じております。

そのことを踏まえて町長に発言を撤回していただいているのに、町職員の立会いなしで我々の一番恐れる詳細調査の一部とされかねない面積確認を、環境省単独で出来ると都合よく解釈されている事実が、その不安が現実であることを示しています。

これらの不安・疑念が完全に払拭されない限り、同盟会としては環境省の現地への立ち入りを認めることはできません。

この意志表明は町民の総意と言っても過言ではなく、私たちの意見を十分に尊重していただき、信頼回復に努めていただきたいと思います。

平成27年1月22日

塩谷町民指定廃棄物最終処分場反対同盟会
会 長 和 氣 進

「塩谷町民指定廃棄物最終処分場反対同盟会」(通称：同盟会)発行

同盟会
かわら版

「同盟会」の目指すもの

「指定廃棄物最終処分場詳細調査候補地」選定の「白紙撤回」を断固目指しています!! その為にも「指定廃棄物は各都道府県内で処理を行う」ことを定めた「特措法の基本方針」の見直しを要求し、放射能を拡散させないことを訴えていきます!!

候補地入口での監視活動、開始しました!

環境省の現地測量等の実力行使を阻止する為、1月22日(木)から東古屋湖大滝林道入口・高原側入口、それぞれに待機し監視活動を開始しました!
町民の皆さまには監視活動への参加・御協力を頂きたく、宜しく願い致します。

環境省職員の候補地への立入りを阻止しました!

1月22日(木)午後1時10分頃、「道路の様子を見たい」とのことで、環境省職員3名が豊月平放牧場側から林道に入ろうとしたところを、同盟会メンバーにて通行を阻止。話し合いの中で穏便にお引き取り頂きました。環境省は近日中に現地の測量調査を実施予定とのことですが、詳細調査のきっかけともなるこの測量も含め、候補地への立入りを断固阻止する方針です。



(同盟会HP)

知ってっけ?



物知り博士

高原山で「火山性地震」が発生!

1月15日(木)、午前1時42分頃、高原・釈迦ヶ岳地区で「ドンと突き上げるような地震」がありました。震源は高原山中の剣ヶ峰とミツモチ山のほぼ中間地点(M2.8)。この地震は玉生、船生、大宮地区などでは感じられなかった模様ですが、高原地区では震度3程度に感じられました。ほんの数秒間「ドン」と突き上げるような地震で、丁度大型ダンプカーが近くを通過した時のような振動でした。高原山=活火山を実感しました。
ああ、おつかねえおつかねえ!!

お知らせ

住民向け経過報告会が開催されます

町内3地区ごとに、指定廃棄物最終処分場問題に関する、行政及び同盟会からの住民向け経過報告会が以下の日程にて開催されます。詳細は改めてご案内しますが、皆様ふるってご参加ください!!

日時： 2月4日(水)、5日(木)、6日(金)